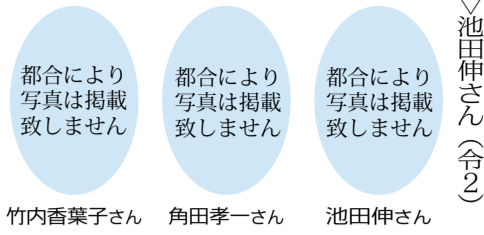


司法試験

7人が難関突破

2022年の司法試験結果が9月6日に発表され、専修大学法科大学院修了者から7人が合格した。合格者は次の通り。(カッコ内は修了年。了解をいただいた方のみ写真掲載)



- ▽角田孝一さん(令4)
- ▽竹内香葉子さん(令4)
- ▽七尾聡さん(令4)
- ▽日下部陽一さん(令4)
- ▽長船龍さん(令4)
- ▽宮本顕さん(令4)

専大法学部卒業後、法律事務所に就職しました。そこで弁護士業務の補助をしていましたが、次第に「自分なら相談者どう接するだろう」と考えるようになった。法科大学院で学んで弁護士になろうと思いついたのは、就職して3年目の冬でした。

集中できる最高の環境

竹内 香葉子さん

は最高の環境でした。同級生の頑張っている姿に刺激を受け、先生への質問もすぐにできます。先生方は厳しくも温かく、丁寧に指導してくれました。添削された答案を直すことで、同じミスを繰り返さなくなりました。

法律事務所を訪れることは、ハードルが高いことだと思えますので、勇気を出して相談に来てくれた人の気持ちに寄り添っていきたい。依頼者にとっての「一番」を考えて実行する弁護士になりたいと思います。

グローバル企業への就職をサポート

神田でキャリア支援講座が始動

一定以上の英語力を持つ。以上、外資系企業や海外展開する日本企業への就職を目指す3年次生を対象にした「グローバルキャリア・サポートプログラム」が神田キャンパスで開講した。グローバル企業の採用選考にチャレンジする意識を高めるとともに、就職活動に必要な知識やスキルを短期間で集中的に磨くことを目的に今年度から始まった。全11回のうち8回は、外部から講師を招き、採用選考を突破するために求められる実践力を身に



学生同士、理想の働き方について話合った

10月4日に開かれた初回の講座では、就職情報大手、ディスコのキャリア

支援営業課長の陶山千里さんが「グローバルな働き方を考える」と題して講演し、事前に申し込んだ約40人の学生が聴講した。

陶山さんは「グローバル人財とは多言語が話せる人ではなく、国内外を問わず、どんな環境でも同じ能力を発揮できる人」などと説明。参加者同士がペアを組み「グローバルに活躍するイメージ」を話し合った。

経営学部の男子学生は「このプログラムには同じ目的を持った他学部の学生が多く参加していて刺激になる」と話していた。

主なキャリア形成支援プログラム(後期)

(実施方法・分類)

📺 ライブ配信 🗣️ オンライン講義 🎬 動画配信 🆚 対面

| プログラム名 | 日程 | 形式 |
|--------------------------------|---|-----------|
| SPIオンライン準備講座 | 10/17(月)~3/31(金) | 🎬 |
| 内定者パネルディスカッション | 10/20(木) | 📺 |
| 学内OB・OGオンライン相談会 | 10/21(金) 10/24(月) 10/27(木) 11/ 5(土) 11/12(土) 12/ 5(月) | 🗣️ |
| How to 企業研究 | 10月下旬~3/31(金) | 🎬 |
| B to B企業トークライブ | 11/1(火) | 📺 |
| 身だしなみセミナー (男子就活編・女子就活メイク編) | 11/ 8(火)生田 11/11(金)神田 (12月中旬も実施予定) | 🆚 |
| 面接のイロハ〈基礎編〉 | 11/18(金) 12/19(月) 2/ 3(金) | 📺 |
| 面接のイロハ〈応用編〉 | 11/19(土) 12/21(水) 2/ 3(金) | 📺 |
| オンライン模擬選考会 (模擬グループディスカッション) | 11月下旬 | 🗣️ |
| トリセツをつくる会 | 12月上旬 2月上旬 | 🗣️ |
| 面接対策・攻略セミナー | 12月上旬 | 🆚 (予定) |
| オンライン模擬選考会(模擬集団面接) | 2月予定 | 🗣️ |

※詳細はin Campus、S-netで。事前申し込みが必要なプログラムもあります。

キャリア形成支援課では、上記以外にも低年次向けのキャリア形成支援プログラムを実施しております。詳細はin Campus、S-netをご確認ください。

就職だより

3年次生へ11月からオンライン企業研究セミナーを開催します。就職活動本番へ向けた業界・企業研究のための有益な機会となります。本学学生限定のイベントです。積極的に参加してください。

「in Campus」にて確認していただき、キャリア形成支援課で就職活動に関するサービスを受けるために

4年次生へ就職活動継続中の学生向けに、学内で企業説明会を随時開催します。本学学生の採用意欲の高い企業に参加

また、進路決定者は、就職支援システム「S-net」から「進路届」を必ず提出してください。

「就職登録」が必要で、登録が済んでいない人は、すみやかに就職支援システム「S-net」にて登録を済ませてください。

また、進路決定者は、就職支援システム「S-net」から「進路届」を必ず提出してください。

ボランティア活動研究会「樹々の会」

OB後藤さんが講演 障がいの理解深める

公認サークルであるボランティア活動研究会「樹々の会」主催の講演会が9月18日、生田キャンパスで行われた。現

樹々の会は、知的障がいなどの支援を必要とする子どもたちに向けたボランティア活動を行っている。1964年創設の歴史あるサークルだが、コロナ禍での活動自粛が続き、一時は廃部の危機に直面した。今年度新たな学生を迎え、再スタートを切った。初の試みとなった講演会は新入会員や、ボランティアに関心がある学生に対して、障がいへの理解を深めてもらうと企画された。

講師は、樹々の会の代表を務めたことがある後藤夕貴さん(令3商)。現



後藤さんは「一口に障がいと言っても特性はさまざま。そのことを理解して、子どもたちの関わり方の参考にしてほしい」と述べ、障がいの種類や傾向などについて説明した。写真。

後半は、後藤さんと、樹々の会OBの本学職員が対談。サークル活動の魅力などを語り合い、「コロナ禍で難しいこともあるが、興味があることにどんどんチャレンジしてほしい」と語りかけた。

密な大学生活

「青春ってすごく密なんで……」という仙台育英高校野球部監督の甲子園優勝インタビューは、ネット上で「流行語大賞」に声上がるほどにぎわっており、皆さんの記憶にも新しいと思います。専修大学の授業も9割対面授業が展開され、また、ゼミ、クラブ・サークルの課外活動も積極的に実施され、学生の皆さんにとって、この夏は少しでも密な大学生活を取り戻せたのではないのでしょうか。

私が夏期休暇中に関わった課外活動でも3年ぶりにスポーツウエルネスゴルフ実習が開講され、約40人の学生が参加しました。実習期間中は、雨の中、ひたすら真っ直ぐに飛ばないボールを3~4人のパーティーで探し回り、深い芝のラフと格闘するなど、学部を超えた交流を行い、笑顔の絶えない4泊5日の密な共同生活をトラブルなく終

えることができました。

私はこの夏、学会の仕事で子どもの心身機能を考えるシンポジウムの企画に携わりました。そこでは人間は、「人間」と書き、生まれた時は動物で、人の社会と交わって「人間」になると改めて考えさせられました。「メタバース」や「Society5.0」など、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムによって開かれるよりスマートな社会が近い将来待ち構えています。大学生活では、そんな社会の準備のために身体活動を通し、自ら足を運んで汗をかいて課題を調査したり、SNSやオンラインではなく対面で友達とアナログで密な大学生活に打ち込んでほしいと願います。もちろん、感染症対策は忘れずに。

(学生部委員・柏木悠)



生田にシェアサイクルポート



川崎市のシェアサイクル事業のサイクルポートが、生田キャンパス10号館横の第4駐輪場に正式に設置された。最大19台駐輪可能。写真。

川崎市シェアサイクル事業は、2年以上の実証実験を経て、今年7月から本格運用が開始された。本学でも実証実験に

参加していたところ、効果が認められたことから、市の要請を受け、改めてサイクルポートに本校地を提供することになった。

シェアサイクルは24時間利用可能。サイクルポートであればどこでも貸し出し、返却ができる。最初の30分は130円で、その後15分ごとに100円かかる。現在市内に約270のポートがあり、このうち多摩区は約40カ所。利用には川崎市が運営を委託する民間事業者への登録が必要となる。

訃報

辻達也氏(つじ たつや) 元文学部教授



9月20日、96才で死去。1986年から97年まで在職。専門は日本近世史。

永瀬治郎氏(ながせ じろう) 名誉教授・元文学部教授



10月3日、78才で死去。1978年から2015年まで在職。専門は社会学。